

## 議 事 録

会議名	山梨がんピアサポート希望の会 第107回定例会
日時	2020年12月20日 10:00~12:00
場所	山梨大学医学部管理棟2階中会議室およびZoom
参加者 イニシャル	H.R W.N N.M M.H A.H N.H M.M K.M H.K A.A H.M K.M (計12) オブザーバー：佐藤弥教授

議 題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1、近況報告</li> <li>2、2020年1月30・31日開催にFFJCPについて</li> <li>3、事務局会議報告</li> <li>4、事例検討</li> <li>5、2020年度のピアサポーター養成講座について</li> <li>6、各自一言と佐藤教授からのコメント</li> </ol>
-----	--

## 議事内容

1. について  
Zoom開催だと参加しやすいメンバーもいて、時間と距離の節約になって良い  
インターネット接続になじめない人の参加がなく、今後の課題になりそう
2. について  
FFJCP参加の2名からzoom「画面共有」で発表があった。2020年のぞみの会の活動としては、全く動くことができなかった期間があったにもかかわらず、可能な限りの感染症対策をとりつつ、いくつかの活動ができていたことは素晴らしいと思った。
3. について  
サロンの展開について慎重に考えていく。感染症との絡みもあるので、軽々に結論が出せない  
連絡網での連絡に対する返信を徹底させたい。連絡係としては、返信がないと不安になる。今後、返事を促す。  
今後の定例会については、3月までは現状を維持したいので、山梨大学医学部地域学講座に協力をお願いする。その後については、zoomと会場を会として設定する方向で2021年3月までに考える。  
ピアサポートのシフト担当に関しては、定例会で事例検討を行うことが一定の基準となっている。4月からのシフトを組む上で、定例会への参加者（事例検討者）を中心に考えていく。  
新しくシフトに入る人は、2回のOJTとして、ピアサポートのなかでロールプレーを体験してもらう。
4. について  
1例の電話対応事例検討・共有を行った。確定診断に至るまでの心の動きなど長時間かけてのサポート例だったためか、顔の表情が見えないことはあまり気にならず、言葉遣いの端々や語彙の調子及び声のトーンで感情をくみ取ることができたことを共有した。
5. について

今年度のピアサポーター養成講座は、基本的にオンラインで行うことを県と調整した。のぞみの会メンバーも、全行程ではなくとも参加することが望ましい。特にオンラインでのロールプレーや医療職におけるがん相談の現状は共有したい。

日程：2021年2月13日、14日 各日とも10:00～16:00

講義時間は例年通り全行程では10時間

#### 6, について

事例検討に関するコメント

確定診断を患者に告げるとき、医師も緊張する。この点は患者は気づかないことも多いが、ピアサポーターは心得ていても良いかもしれない。

また、オンラインでのサポートは、表情が見えるので、懸念しているよりもやりやすいかも知れない。

全員でパソコンのカメラに向かってスクリーンショットを撮って会を終わった。

定例会 次回予定	第108回定例会 2021年1月31日(日) 10:00 ~山梨大学医学部管理棟2階中会議室&Zoom
-------------	--

司会：興水副代表 文責：わかお